

資料5 2023年度(R5年度)の主な取り組み

いよいよ2年後に迫った大阪・関西万博の開催を見据え、万博のインパクトを活かした都市魅力の創造・発信や、安全・安心に滞在できる受入環境整備など、大阪都市魅力創造戦略2025に基づく重点取り組みをはじめとした各種施策を推進。

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

- 2025年日本国際博覧会の推進
- IRの推進
- 大阪市内の重点エリアの魅力向上
- 世界遺産百舌鳥・古市古墳群の保存活用
- 水都大阪【一部新規】
- 万博記念公園の魅力向上
- デジタル技術を活用した大阪のにぎわい創出【新規】

■ 大阪の強みを生かした魅力創出・発信

- 大阪の食の魅力の発信
- 国内外の人々を惹きつけるキラコンテンツの創出
- 大阪・光の饗宴
- 大阪観光局の取り組み

■ さらなる観光誘客に向けた取り組み

- 大阪府域等への観光誘客・周遊促進【新規】
- 大阪デスティネーションキャンペーン【新規】
- 万博プラス関西観光推進事業【新規】
- 海外に向けた大阪の魅力発信
- 外国人旅行者の安全確保
- 災害時多言語支援
- 宿泊施設における受入環境整備

■ 戦略的なMICE誘致の推進

- MICE推進に向けた取り組み【一部新規】
- 2023年G7大阪・堺貿易大臣会合の推進【新規】
- ツーリズムEXPOジャパン2023開催支援【新規】
- インテックス大阪の改修
- 大阪府立国際会議場の改修

■ 文化・芸術を通じた都市ブランドの形成

- 文化芸術活動への支援
- 文化芸術活動の活性化・魅力発信【新規】
- 大阪府20世紀美術コレクション魅力発信事業【新規】
- 芸術文化による大阪の魅力向上

■ スポーツツーリズムの推進

- 大阪いのち輝くスポーツプロジェクト【新規】
- スポーツチームと連携した万博機運醸成事業【新規】
- 大阪スポーツプロジェクト推進事業
- 大阪マラソン2024の開催

■ 大阪の成長・発展につながる

国内外の高度人材の活躍推進

- 高校生等海外進学支援事業（おおさかグローバル塾）
- 実践的英語体験活動推進事業（グローバル体験プログラム）
- 外国人留学生就職等支援
- 英語イノベーション事業

※詳細は、「（別添）取り組み概要」資料を参照

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

2025年日本国際博覧会の推進 府市 R5年度当初予算案 13,775,749千円

- 事業概要**
- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の成功に向け、地元自治体として担うべき開催準備等を推進する。
- 会場整備・交通アクセスにおいて万博の成功に向け、引き続き国や関係機関と調整を行う。
 - 大阪ヘルスケアパビリオンの建築については2023年4月に着工し、2024年10月末の完工をめざし建築工事を進める。運営及び行催事については計画策定を行う。
 - 府民・市民一人ひとりに向けたPR活動や万博への理解促進、興味関心を示す取り組みを推進するとともに、「万博の桜」への呼びかけ、PRツールの配布などによって、機運醸成を図る。また、国や博覧会協会、その他関係機関とも連携し、各主体が有するツールやネットワーク等を活用して府内外に向けた機運醸成を進めていく。
 - 大阪・関西万博に、多くの府民・市民等が参加できるよう、ボランティアの受入準備等を実施し、参加者の募集を開始する。また、大阪の魅力の発信等につながるよう、万博の会期中に会場内で行われる催事への参加について、検討及び調査を行う。

IRの推進 府市 R5年度当初予算案 115,524千円

- 事業概要**
- 夢洲において、大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型 I Rの実現をめざし、開業に向けた取組みを進めていく。
- 2023年 春～夏頃 工事の発注及び着手※
 - 2029年 秋～冬頃 I R施設の開業※
 - ※ 工程が最も早く進捗した場合の想定

大阪市内の重点エリアの魅力向上 府市

- 事業概要**
- 都市の魅力向上に向けて、大阪市内の重点エリアの魅力向上、発信の各種取組を推進する。
- [①大阪城・大手前・森之宮地区]
- 豊臣期石垣公開事業 [R5年度当初予算案 694,049千円]
- 初代大坂城の石垣を掘り起こし、公開施設の整備、特別史跡大坂城跡保存管理計画の推進、文化財の整備・活用を行う。
- 2022～2023年度：施設整備工事、斜面復旧工事、施設展示製作、遺構モニタリング、豊臣石垣保存公開検討会議
 - 2024年秋の施設オープンをめざす。
- 難波宮跡公園の整備 [R5年度予算案 226,119千円] ※R4年度からの繰越予定含む
- 2025年大阪・関西万博開催に向け、「史跡難波宮跡附法円坂遺跡整備基本計画」に示された短期計画の早期実現をめざす。
- 2023年度 事業者により公園整備に着手
 - 2024年度 北部ブロック公園完成予定
- [②御堂筋地区]
- 御堂筋活性化事業 [R5年度当初予算案 458,000千円]
- 御堂筋の賑わい創出、憩いや交流など都市魅力の向上や活性化につながる取組みを行う。
- 2023年度 公民連携による取組みの推進
- 御堂筋の空間再編 [R5年度当初予算案 1,904,000千円]
- 「車中心から人中心の道路空間」へと、道路空間再編（側道歩行者空間化）を行う
- 2023年度 長堀通から道頓堀川区間の歩行者空間整備を実施

世界遺産百舌鳥・古市古墳群の保存活用 府 R5年度当初予算案 13,015千円

- 事業概要**
- 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」について、「世界遺産条約」に基づく義務を果たすため、資産の保存・活用の取組みや資産の価値と魅力を発信する取組みを、大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市が一体となり進める。
- 魅力発信の取組み（デジタルメディア活用事業）
海外メディアを活用した記事制作及び広告配信（サイト内、YouTube等）を実施
 - ・ 2023年夏～秋頃 記事制作予定
 - ・ 2023年秋～冬頃 広告配信予定

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

水都大阪

府市

一部新規

事業概要

① 水都大阪コンソーシアム事業 [R5年度当初予算案 67,450千円]

「水と光の首都大阪」の実現に向けて、府・市・経済界等による公民共通のプラットフォームである「水都大阪コンソーシアム」において、水辺魅力創出や舟運活性化、ブランディング、観光、安全安心の取組みを推進する。2023年度は万博、さらにその先を見据えた新たな船着場の活用等による乗船機会の創出や水都大阪のファンづくりとブランディングのさらなる強化とともに、万博を契機とするポスト2025をにらんだ水都の将来像の検討を行う。

②水辺の魅力空間づくり [R5年度当初予算案 1,586,548千円]

舟運をはじめ水辺も楽しめる観光メニューが集結するターミナルの整備、水辺魅力の向上や、舟運活性化に資する空間・景観整備を行う。

- 水辺の魅力向上に向けた基盤整備
海と川の結節点にある中之島GATEターミナルの整備において、水の回廊の新たなにぎわい拠点を整備する。
2023年度 船着場の整備等に着手
にぎわい施設の整備・管理運営事業者の選定
2024～2025年度 船着場の整備・開業予定
- 新たな舟運ルートの発掘・創出 【新規】
兵庫・大阪間の新たな舟運ルートの発掘、創出により万博会場と観光地等を結ぶ水上交通ネットワークを構築し、来訪者の周遊・滞在を促進する。
2023年度 兵庫・大阪間を観光クルーズ船で周遊する社会実験の実施
- 東横堀川の水辺空間利用の促進（本町橋～農人橋間）
2022年度 契約手続き、工事着手
2023～2024年度 工事・完成予定
- 水と光を活かした景観創出 【新規】
万博会場と大阪市内を結ぶ舟運ルート沿いに、水と光を活かした景観の創出等により、多数の万博来場者を船に呼び込み水都大阪の魅力を強力に発信する。
2023年度 実証実験の実施
2024年度 プレ実施、連携イベント実施
2024年度末～2025年度 本格実施

③夜間景観における水辺の魅力向上 [R5年度当初予算案 41,000千円]

中之島夜間景観の質の向上と永続化に向け、新たなライトアップ施設の設置や既存施設の更新を実施する。

- 端建蔵橋ライトアップ 2022年度 設計、2023～2024年度 工事・完成予定

万博記念公園の魅力向上

府

事業概要

①万博記念公園駅前周辺地区活性化事業 [R5年度当初予算案 469,935千円]

大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点づくりを推進するため、世界最先端の機能を有するアリーナと、アリーナを中核とした周辺施設が相乗効果を発揮し、大阪・関西、ひいては西日本の成長、発展の起爆剤となるよう取組む。

- 2023年度以降 環境アセスメント後工事着工
- 2027年度 第Ⅰ期（アリーナ等）開業
- 2032年度以降 順次開業（～2037年）

③EXPO'70 パビリオン別館の建設 [R5年度当初予算案 486,022千円]

太陽の塔初代黄金の顔等、1970年大阪万博のレガシーを中心に常設展示を行うほか、屋内イベントが開催できるスペースと機能を備えた施設として、令和5年8月オープンに向け、建設工事等を進めていく。

- 2021年12月～2023年4月 建築工事
- 2022年 5月～2023年7月 展示設計等・製作・設置
- 2023年 8月 オープン予定

デジタル技術を活用した大阪のにぎわい創出

市

R5年度当初予算案 76,200千円

新規

事業概要

大阪が誇る文化財（大阪城や泉布観など）や地方独立行政法人大阪市博物館機構が管理・運営する6つの博物館等について、デジタル技術を活用した魅力発信等を行うことにより、誰もが文化財等に親しめる機会を創出し来訪者を増加させるとともに、地域活性化、にぎわい創出を図る。

- 大阪城の魅力発信
 - ・ 史跡案内板の機能向上：園内の史跡案内板の解説を動画等による多言語対応を可能とすることで受入環境を整備する。
 - ・ 映像展示魅力向上：貴重な館蔵品の魅力や大阪城の歴史を伝える映像コンテンツを作成して館内展示として披露する。
- 重要文化財（泉布観）の魅力発信
 - ・ 泉布観VRコンテンツ制作：老朽化で普段公開していない内部を中心に、VR技術で往時の空間を再現したコンテンツ映像を制作し、催事・インターネット等で発信する。
- 博物館の魅力創出
 - ・ 快適な鑑賞環境の提供：博物館等の所蔵品を様々な角度から鑑賞できる機能や、多言語対応による館内案内機能をもつデジタルコンテンツを制作する。

■大阪の強みを生かした魅力創出・発信

大阪の食の魅力の発信

府市

事業概要

大阪の強みである「食」のコンテンツの磨き上げや発信などを行い、大阪の賑わいを創出する。

①食のブランディングに向けた取り組み

〔R5年度当初予算案 大阪観光局運営事業（524,224千円）の一部〕

食に関する事業を通じて大阪の「食」ブランディングに向けた取組みを推進する。

大阪商工会議所と共に「食創造都市 大阪推進機構」の活動を通じて世界における「食のまち・大阪」を発信する。

○ 2023年度

情報発信サイトでの「食」ブランディング関連の情報発信

②大阪産（もん）グローバルブランド化促進事業

〔R5年度当初予算案107,416千円〕

事業者への支援等により付加価値の高い大阪産(もん)づくりを進めるとともに、大阪産(もん)のPR販売や販路拡大等を促進し、ブランド力の向上と購入機会の拡大を図る。

2023年度は、大阪産（もん）PRイベント（12回）等 を実施予定。

○ 2023年度目標

大阪産(もん)ロゴ使用許可件数 1,140件

③食を活用した観光魅力開発事業

民間事業者等との連携により、大阪ならではの「食」の魅力を発信し、観光客の誘致及び観光消費の拡大を図る。

○ 大阪地場素材をふんだんに味わえる「あじわい大阪」特別メニューの提供

○ エンタメ要素が組み込まれた食と体験のコラボ商品の提供 など

国内外の人々を惹きつけるキラコンテンツの創出

府市

R5年度当初予算案 151,200千円

事業概要

大阪のシンボリックなエリア（御堂筋、中之島、水の回廊など）において話題性のあるキラコンテンツを実施し、大阪の魅力を全世界に強力に発信することで、多くの方々を大阪に誘客する起爆剤となるプロモーションイベントを開催する。

2025年大阪・関西万博の機運醸成に向けたプロモーション事業とも連携。

○ 2023年秋頃 イベント開催予定

大阪・光の饗宴

府市

R5年度当初予算案 353,746千円

事業概要

「御堂筋イルミネーション」、「OSAKA光のルネサンス」、地域団体等が展開するエリアプログラムを一体的に展開し、都市魅力の創造・発信や都市ブランドの向上を図る。

大阪の冬を代表する観光コンテンツの充実を図り、国内外からの観光客の満足度を高め、さらなる呼び込みを図る。

○ 2023年11月～12月頃 イベント開催予定

大阪観光局の取組み

府市

R5年度当初予算案 524,224千円

事業概要

大阪観光局において、大阪・関西万博に向けて、大阪への集客を図るため、観光マーケティング・リサーチの強化、ICTを活用した大阪の観光情報の発信、観光客のニーズやターゲットに応じた国内外の戦略的プロモーション等を実施。

○ 国内外へのプロモーション、国内外教育旅行誘致

○ 広域周遊の促進（エリアごとにテーマを設定した新たなコンテンツの造成など）

○ 観光DX・マーケティングリサーチ（観光に関するデータベースの構築、データを活用した府内市町村の観光戦略策定支援、観光アプリ（XR機能）を活用した取組みなど

○ 観光魅力の創造（食、歴史、スポーツ、ウェルネス等、大阪らしい観光素材の開発、ペットツーリズム、ガストロミーツーリズム等の推進など）

○ MICE誘致の推進（万博に関連したMICE誘致、国内外へのプロモーションなど）

○ 観光情報の発信（観光案内所の運営、HPやSNSによる国内外への情報発信など）

■さらなる観光誘客に向けた取り組み

大阪府域等への観光誘客・周遊促進

府市

新規

事業概要

大阪・関西万博開催に向け、府域の観光資源を活用したイベント開催等により府域への集客・周遊を促進するとともに、新たな観光コンテンツ等の造成等により大阪・兵庫への周遊を促進する。

①大阪の観光資源の強みを活かした集客・周遊事業[R5年度当初予算案600,000千円]

国内外から旅行先として大阪を選んでもらえるような大阪市域での集客イベント開催に加え、府域5エリア（北摂、北河内、中河内、南河内、泉州）で、市町村や関係部局等と連携した集客イベントを開催することで相乗効果を生み出し、府域に効果的に集客する。

- 2023年夏以降事業開始予定

②観光コンテンツ等の造成 [R5年度当初予算案 12,000千円]

将来のリピーターとなる若い世代を中心に、兵庫・大阪への周遊を促進するため、新たな質の高い体験型観光コンテンツや、それらをつなぐ周遊モデルコースを造成する。

- 2023年5月事業開始予定

宿泊施設における受入環境整備

府

R5年度当初予算案 25,200千円

事業概要

宿泊施設（特区及び新法民泊施設を含む）における来阪旅行者のための新型コロナ感染防止対策や多言語化対応などの「おもてなし」環境整備に係る事業に対し補助を行うことにより、受入対応の強化を図り、旅行者の宿泊需要への対応やリピーター確保につなげていく。

- 2023年5月 募集開始予定

外国人旅行者の安全確保

府市

R5年度当初予算案 2,322千円

事業概要

災害時等に外国人旅行者自らが身を守るために必要な情報を入手できる環境をつくることと、ホテル等との災害時の連携協定締結を進め、災害時に一時避難できる環境を確保することにより、外国人旅行者が安心・安全に大阪の旅行や観光を楽しめる環境を整備する。

2023年度も引き続き、旅行者向けのリーフレットの配布拡大をはじめ、支援フロー及びガイドラインの周知、大阪市をはじめとした府内宿泊施設との協定締結の促進に取り組む。

大阪デスティネーションキャンペーン

府市

R5年度当初予算案 80,000千円

新規

事業概要

大阪・関西万博開催を契機とし、J R 6社（北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）と連携した全国規模の観光キャンペーンを展開し、大阪・関西万博の機運醸成、府域への誘客・周遊促進を図ることにより、観光消費の拡大を図る。

- 2023年度 推進協議会の立ち上げ
- 2024年4～6月 プレキャンペーン・ファムトリップの実施
- 2025年4～6月 本キャンペーンの実施
- 2026年4～6月 アフターキャンペーンの実施

万博プラス関西観光推進事業

府

R5年度当初予算案 5,000千円

新規

事業概要

関西の自治体（2府8県）民間企業等が一体となって、万博のテーマ等を踏まえた新しい旅行商品やコンテンツの造成を進め、関西各地の特色や生活文化等の魅力を“KANSAI”として発信し、万博及び関西への誘客を進める。

- 2023年度 旅行商品造成、特設ウェブサイトでの情報提供。
- 2024年度～2025年度 旅行商品造成、プロモーションの実施、特設ウェブサイトでの情報提供等

海外に向けた大阪の魅力発信

府

R5年度当初予算案 58,388千円

事業概要

大阪・関西万博を大阪の魅力を世界に発信する絶好の機会と捉え、落ち込んでいるインバウンド需要を回復させるため、大阪府内の魅力ある観光資源等を盛り込んだプロモーション動画（2022年度制作）を活用のうえ海外へ発信し、大阪への観光等誘客の促進に取り組む。

- 2023年度 アジア、欧米豪などへの動画配信、ニーズ分析調査を実施

災害時多言語支援

府市

事業概要

①災害時多言語支援事業(Osaka Safe Travels)[R5年度当初予算案 12,993千円]

災害時に外国人が必要とする災害や交通等の情報（GPSを活用した外国人が受診可能な医療機関までのルート検索も可能）を多言語(12言語)で一元的に提供するウェブサイト・アプリ「Osaka Safe Travels」の管理・運用を行うとともに、(公財)大阪府国際交流財団や市町村等と連携した在住外国人への周知も継続して実施。

②災害時における多言語支援の強化 [R5年度当初予算案 1,414千円]

災害時に多言語で外国人向けに相談や情報発信を行う多言語支援センターを設置し、必要としている情報を「迅速」かつ「分かりやすく」提供するなど、多言語支援の強化と外国人が安心して過ごせる社会の実現を図る。

■ 戦略的なMICE誘致の推進

MICE推進に向けた取組み府市一部新規

事業概要

2022年度中に策定予定の「大阪MICE誘致戦略」に基づき、官民が一体となって戦略的にMICE誘致を展開する。

2025年大阪・関西万博開催に向け、大阪への注目が集まり、活発な国際交流が期待される中、国際会議をはじめとするMICEを積極的に誘致・創出するため、国際会議の誘致・開催助成制度を創設し、また、府内施設を主会場としたオンライン併用型MICEの開催費用の助成を継続するなど、大阪におけるMICE受入体制の充実を図ることで、観光消費を拡大させ、大阪に集積する産業分野を活かしたビジネスやイノベーションの機会を創出する。

①MICE誘致のための取組み

[R5年度当初予算 大阪観光局運営事業（予算：524,224千円）の一部]

万博に関連したMICE等の誘致に向け、国内外へのプロモーションや情報発信を実施。

②万博と連動した国際会議誘致・開催支援事業【新規】

[R5年度当初予算 21,000千円]

世界水準のMICE都市・大阪の実現に向けて国内外の競合都市との競争力強化を図るため、万博のインパクトを活かし、ライフサイエンス、環境・エネルギー、国際金融など、府市が設定する重点分野の国際会議を大阪へ誘致するための助成制度を創設。

○ 助成額（対象経費の1/2以内）

・ ICCA基準相当：上限10,000千円（総参加者数50人以上、3か国以上ローテーション、会期2日以上）

・ JNTO基準相当：上限5,000千円（総参加者数50人以上、総参加国（日本含む）3か国以上、会期2日以上）

③ハイブリッドMICE開催支援 [R5年度当初予算 9,444千円]

現在、世界のMICE業界において主流な開催形態であるオンライン開催と会場での開催を組み合わせたハイブリッドMICEの開催に要する経費を支援する。

大阪府内の施設をリアル主会場とする際に必要となる配信用機材等のレンタル料、通信費、オペレーター経費、会場費を助成する（補助率1/2）。

2023年G 7 大阪・堺貿易大臣会合の推進府R5年度当初予算案 69,586千円新規

事業概要

2023年に大阪・堺で開催されるG 7 貿易大臣会合成功のため、府・堺市・経済界等による推進協力協議会を設置し、安全・安心に向けた取組みや、大阪・堺の魅力発信等を実施する。

○ 開催日：2023年10月28日（土）、10月29日（日）

ツーリズムEXPOジャパン2023開催支援府R5年度当初予算案 15,000千円新規

事業概要

世界最大級の国際観光イベントである「ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西」を大阪で開催し、トッププロモーションや特設ステージでのイベントを実施するとともに、特設コーナーを活用した兵庫県との共同出展を行い、大阪・関西万博の魅力や兵庫県との広域観光エリアとしての観光PRを実施する。

○ 開催日：2023年10月26日（木）～10月29日（日）

○ 場 所：インテックス大阪

インテックス大阪の改修市R5年度当初予算案 40,425千円

事業概要

来場者に対する安全性や快適性を確保し、インテックス大阪の長寿命化・適正な維持保全を図るために必要な改修工事等を実施する。

○ 2022年度 基本計画作成

○ 2023年度以降 基本・実施設計を経て、順次改修工事を実施予定

大阪府立国際会議場の改修府R5年度当初予算案 4,003,750千円

事業概要

国際会議施設として必要とされる水準を維持するとともに、利用者の安全確保・快適性を確保し、施設の稼働率の維持・向上を目的に設備等の改修、更新工事を行う。

○ 2023年度：大規模改修工事（音響、調光、吊物、舞台等設備の改修）（2023年11月20日～2024年3月31日の間、休館し実施）

■文化・芸術を通じた都市ブランドの形成

文化芸術活動への支援府市R5年度当初予算案 300,000千円	
事業概要 新型コロナウイルス感染症により、今なお影響を受けているアーティストや文化芸術団体等の活動を支援するため、府市が連携し、公演・展示の実施にかかる会場使用料を補助する。	
文化芸術活動の活性化・魅力発信府市新規R5年度当初予算案 724,000千円	
事業概要 大阪・関西万博を好機と捉え、府市連携のもと、アートをはじめ大阪が誇る上方伝統芸能や音楽など多彩で豊かな文化の魅力を発信し、万博の機運醸成を図るとともに、大阪の成長につなげていく。府内各地のホールや万博記念公園、大阪城、中之島エリア等で、様々な文化芸術プログラムを実施し、文化芸術活動を活性化させ、2025年度の大規模な文化芸術祭の開催につなげる。 また、市町村等と連携し、府内各地の文化資源を活用した公演等を実施することで、地域の魅力向上、地域への誘客につなげる。	
○ 秋頃を中心に実施予定	
大阪府20世紀美術コレクション魅力発信事業府市新規R5年度当初予算案16,000千円	
事業概要 府所蔵美術作品をデジタルアーカイブ化するとともに、主要な作品によるバーチャル美術館を開設し、国内外に現代美術や大阪の魅力を発信。大阪への誘客と万博の機運醸成を図ることにより、大阪のさらなる成長につなげる。	
○ 2023年度目標：デジタルアーカイブ化2000点、 バーチャル美術館展示数100点	
○ 「バーチャル美術館」の開設	
・ 大阪府立江之子島文化芸術創造センターのHPに所蔵作品をデジタルアーカイブ化した画像を順次掲載し、「バーチャル美術館」を開設	
・ パソコンやスマートフォンにより、展覧会で鑑賞しているような体験ができる仕組みを構築	
・ 「バーチャル大阪」とも連携し、現代美術や大阪の魅力を国内外に発信	

芸術文化による大阪の魅力向上市	
事業概要 ①大阪クラシック [R5年度当初予算案 32,350千円] 御堂筋や中之島エリアで無料または低料金のクラシックコンサートを通じて、市民やビジターが気軽に第一級の芸術を楽しむ機会を提供するとともに、大阪ならではの芸術文化イベント開催により都市魅力の向上を図る。	
○ 2023年9月実施予定	
○ 集客数目標：42,000人	
②大阪アジア映画祭 [R5年度当初予算案 20,288千円] 優れたアジア映画の鑑賞機会を市民に提供すること及び大阪での映像制作活動の促進を支援すること等を通じて、映像文化の裾野を広げ、芸術文化にあふれる大阪を国内外に発信する。また、大阪を映像文化の創造拠点として、都市の魅力を高めるとともに、交流と人材育成を図る。 アジア最新作の上映や来日ゲストとの交流、シンポジウム、映画講座等を実施する。	
○ 2024年3月上旬頃 映画祭開催予定	
○ 上映動員数目標：10,000人	
③文楽を中心とした古典芸能振興 [R5年度当初予算案 35,000千円] 大阪の誇る文楽を中心とした上方の古典芸能に触れる機会を市民に提供することで、文楽をはじめとする古典芸能の振興を図ることを目的に、文楽に関する公演や行事を開催するとともに、国立文楽劇場での文楽鑑賞への興味を喚起する情報を発信する業務を実施する。	
○ 2023年5月 事業者募集、7月頃 事業開始、2023年3月 事業終了	
○ 古典芸能公演等視聴者数目標：17,500人／年	
④大阪市芸術活動振興事業助成 [R5年度当初予算案 117,000千円] 団体・個人が行う芸術文化活動を公募し、アーツカウンシルの審査を経て、これらの事業経費の一部に対して助成を行う。	
○ 募集期間 (特別・一般上期) 2023年1月末～2月末、(一般下期) 2023年6月末～7月末	
○ 助成対象期間 (特別) 2023年4月1日～2024年3月31日、(一般上期) 2023年4月1日～9月30日、 (一般下期) 2023年10月1日～2024年3月31日	
○ 特別助成申請件数目標：45件以上	

■スポーツツーリズムの推進

大阪いのち輝くスポーツプロジェクト

府市

新規

R5年度当初予算案 97,262千円

事業概要

大阪市内の重点エリアである大阪城・中之島・天王寺や大阪府域の大型商業施設などにおいて、大阪府及び大阪市が有するスポーツ資源を有効に活用し、大阪・関西万博の機運醸成を行うとともに、万博を契機として、大阪に多くの人を呼び込むスポーツツーリズムを展開することで、スポーツを核とした大阪の都市魅力の向上・地域活性化を図り、万博の「いのち輝く」をテーマとしたスポーツ都市大阪の創出に取り組む。

- 大阪市内重点エリア等（まちなかのメイン会場）において、「いのち輝く」をテーマとした参加型スポーツイベント等、誰もが楽しめるスポーツコンテンツの創出。
- まちなかのメイン会場とともに大型商業施設等発信力の高い場所での、トップ選手とともに楽しむショーや体験会、新しいアーバンスポーツを含む魅力的なコンテンツの実施により、体験イベントを起点に多くの人を大阪に呼び込む。
- 市町村施設と連携し、アーバンスポーツ等の魅力を伝える体験出前事業を実施。

スポーツチームと連携した万博機運醸成事業

市

新規

R5年度当初予算案 10,000千円

事業概要

大阪市と包括連携協定を締結している7チーム（※）等と連携し、それぞれのチーム等が持つ発信力、訴求力を活かした取組を実施する。

※ セレッツ大阪、JTマーヴェラス、クボタスピアーズ、NTTDコモレッドハリケーンズ大阪、オリックス・バファローズ、大阪エヴェッサ、サントリーサンパース

大阪マラソン2024の開催

府市

R5年度当初予算案 180,000千円

事業概要

2022年2月27日開催の第10回大会から「びわ湖毎日マラソン」と統合。都市型市民マラソン、オリンピック等の代表選考レースとしての機能を併せ持つ大会として開催し、大阪の都市魅力を国内外に発信する。

- 大会名称：大阪マラソン2024（第12回大阪マラソン）
- 開催日：2024年2月25日（日）（予定）
- 参加定員：35,000人（予定）
海外ランナーエントリー数 3,000人を目標
- コース：府庁前～造幣局～中之島周辺～御堂筋～京セラドーム大阪～あべのハルカス～大阪ビジネスパーク～大阪城公園

大阪スポーツプロジェクト推進事業

府

R5年度当初予算案 10,000千円

事業概要

大阪スポーツコミッション（OSAKA SPORTS PROJECT）では、スポーツ資源を活用し、スポーツを楽しめる機会を提供するとともに活力あるまちづくりに向けて、スポーツツーリズムの推進に取り組む。

※大阪スポーツコミッション（OSAKA SPORTS PROJECT）
府内16のトップスポーツチームと連携し、2022年1月設立

- （主な取り組み）
 - 万博に向けた機運醸成（公式試合等において、スポーツチームと一体となった万博の機運醸成）
 - スポーツツーリズムの推進（スポーツチームのポテンシャルを活かし、イベントを通じた大阪への誘客やシェアサイクルなどを活用した地域周遊の促進）
 - 生涯スポーツの振興（市町村や民間企業等と連携したスポーツ体験イベントやトップアスリート小学校ふれあい事業の実施）
 - スポーツによる都市魅力の発信（ホームページ「スポーツ大阪」やSNS等の活用）
- トップスポーツチームによる出前スポーツ教室
 - 複数のトップスポーツチームによるスポーツ教室を府内の施設等で開催、5カ所以上を想定
- ※ スポーツ庁補助事業「スポーツによる地域振興・まちづくり担い手育成総合支援事業（地域SC経営多角化支援事業）」

■大阪の成長・発展につながる国内外の高度人材の活躍推進

高校生等海外進学支援事業（おおさかグローバル塾）府

R5年度当初予算案40,483千円

事業概要
海外の大学で学位取得をめざす高校生を対象に、英語力やコミュニケーション力等の強化を図るとともに、海外の大学への進路指導を行うなど、総合的な支援を実施し、世界で活躍できるトップレベルのグローバル人材を育成する。
新たに、委託事業者と広報連携した受講生募集（50名）や修了生への継続した進路指導を行うことで海外進学をさらに後押しする。
万博をテーマにしたプレゼン発表など機運醸成に向けた取組みを実施する。

- 2023年 2 月 事業者及び受講生募集
- 2023年 5 ～ 7 月 海外進学準備講座（前期）計10回
- 2023年 7 月31日～ 8 月9日 英国リーズ大学短期留学
- 2023年9月～翌年2月 海外大学受験講座（後期）計10回
- 2024年3月 プログラム終了
- おおさかグローバル塾修了者の海外進学レベルの英語力習得：90%以上を目標

実践的英語体験活動推進事業（グローバル体験プログラム）府

R5年度当初予算案 7,877千円

事業概要
府内の高校生等を対象に、外国人スタッフとの実践的な英語体験活動を実施することで、参加する生徒が、海外への興味・関心を高め、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを実感するとともに、外国人に自分の考えを伝えたり、大阪の魅力を紹介するなど、自然に英語で交流を図ることができるコミュニケーション感覚や能力を育成する。
新たに、外国人スタッフと英語でディスカッションを行う時間の確保や、英語レベル別のプログラム設置を行うなど、英語で積極的に交流できる環境を提供する。

- 2023年 2 月 事業者募集
- 2023年 4 月 事業開始
- 2024年 3 月 事業終了
- グローバル体験プログラム参加者のうち、英語の習得意欲が高まった割合：95%以上、海外に関する関心が高まった割合：95%以上を目標

外国人留学生就職等支援 府市

事業概要
①外国人留学生就職支援事業 [R5年度当初予算案 2,186千円]
大学・大学院に在学し、大阪府内での就職をめざしている外国人留学生を対象に、就職に関するセミナー等を実施することで、大阪企業への就職を促進し、外国人留学生の大阪への定着を図る。
2023年度は、大学や経済団体と連携し、外国人留学生向けに就職活動やインターンシップ、ビジネス日本語に関するセミナー（10回）の実施や、企業見学会（2回）を4年ぶりに開催する。

- 府内企業に対する理解が深まった外国人留学生の割合：90%以上を目標

②外国人留学生との連携拡大及び起業支援 [R5年度当初予算案 4,326千円]
国際的な視点・能力をもつ留学生に、大阪市等が企画する協働・交流プログラム（ボランティアプログラム）に参加してもらい、地域の国際化・活性化を図るとともに、留学生の地域への愛着を醸成する。また、起業のきっかけとなるような支援セミナーを開催し、国際人材の定着を促進する。

- 交流プログラム（2件）、協働プログラム（20件）、起業支援セミナー（2件）を目標

英語イノベーション事業 市

R5年度当初予算案 716,645千円

事業概要
英語教育の強化を図ることにより、児童生徒が自分の考えや意見を英語で伝えることができるコミュニケーション能力を育み、グローバル社会において活躍し貢献できる人材を育成する。

- ・ ネイティブ・スピーカーを小学校、中学校の全校に配置
- ・ 「小学校低学年からの英語教育」を全小学校で実施
- ・ 小中学生が集中的に英語を使う機会を提供
- ・ 中学生の英語力を的確に把握し、指導改善を図るための英語力調査の実施
- ・ 教員の指導力・英語力の向上を図る研修の実施

- CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合53.4%を目標
- 2023年 4 月～ 全小中学校にネイティブスピーカーを配置
- 2023年 4 月～ 全小学校で小学校低学年からの英語教育を実施
- 2023年 8 月 英語体験イベントを実施
- 2023年10月 大阪市英語力調査（4技能）実施
- 2023年5月～2024年2月 教員の指導力及び英語力向上に向けた研修の実施